

帝京大学大学院

文学研究科 日本文化専攻

「人間とは何か」を探求すること

「人間とは何か」、この永遠の問題を問いつめていくのが文学研究科です。文学研究科には3つの専攻が存在していますが、それは、この「人間とは何か」という問題探求の頂上を極めるためのいわば山の登り道が3つに違うだけなのです。究極的に求めるものは同じだということを忘れないでください。

こうした人間存在を探求していく学問のことをヒューマニティーズ＝人文学といいます。実は西欧で大学ができた時、すべての学問の基礎は人文学にありました。その後、その分野も、哲学・歴史学・文学などに分かれていきましたが、根は1つの人文学だったのです。

もちろん現在学問は様々に分化しており、本学にも多くの専門的学問が存在し、人文学を行う文学研究科自体にも3つの専攻が発達してきていますが、それらの基礎には、人間探求という課題が存在しているのです。ですから、文学研究科で学ぶ学生は、「人間とは何か」という永遠の問題を扱うという自負心と使命感を持って学んでもらいたいと思います。

分には掘り下げる洞察力と、各領域の知識および方法論を身につけることが重要となります。学部等における上記のような学修を通じて、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

文学研究科は、専攻する広範で多様な学問領域において高度の専門的知識や実践的技能を獲得し、複雑で多様化する諸課題を究明・解決できる能力を持つ人材の育成を目指しています。

文学研究科では、国際的な視野に立った高度な理論・方法、そして実践的技能の修得が求められます。このため学部等において、自らの関心を充

1. 各専攻が求める高度の専門的知識や実践的技能に関わる基礎的知識を有する。
2. 明確な研究目的を持って複雑で多様な諸課題を積極的に発見し、探求する意欲がある。
3. 各領域における研究の方法論を熟知し、多面的視点で研究を遂行していくことができる。

専攻紹介

日本文化の特質とその奥底に存在するものを探る。

日本文化専攻では、言語、芸術、大衆文化、宗教、社会、文学といった多様かつ相互に関連する視点から、過去から現代までを射程に入れた、国際性や学際性を踏まえた研究手法を修得することができます。各自のテーマについて、高度な研究段階までの指導を行い、日本文化に関わる深い理解を得ることをめざします。

現在、日本文化の魅力には国内外から注目が集まっています。そもそも日本文化とは何か、その特徴がどこにあるのでしょうか。この深い問いに答えるため、世界に視野を広げグローバルな視点から「比較」を行うことで、日本文化の特質や価値を明らかにする人物の育成を、日本文化専攻はめざしています。



専攻主任
教授・博士(社会学)

岡田 あおい Aoi Okada

慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程単位取得退学、博士(社会学)。慶應義塾大学文学部教授を経て、2024年から本学教授。

授与学位

※募集人員・入試日程などについては大学ホームページ掲載の「入学試験要項2026」をご覧ください。

課程・修業年限	授与学位	学位論文	必修	選択	修了に必要な単位数
博士前期課程・2年	修士(文学)	○	8	22	30単位
博士後期課程・3年	博士(文学)	○	6	4	10単位

進路

就職先

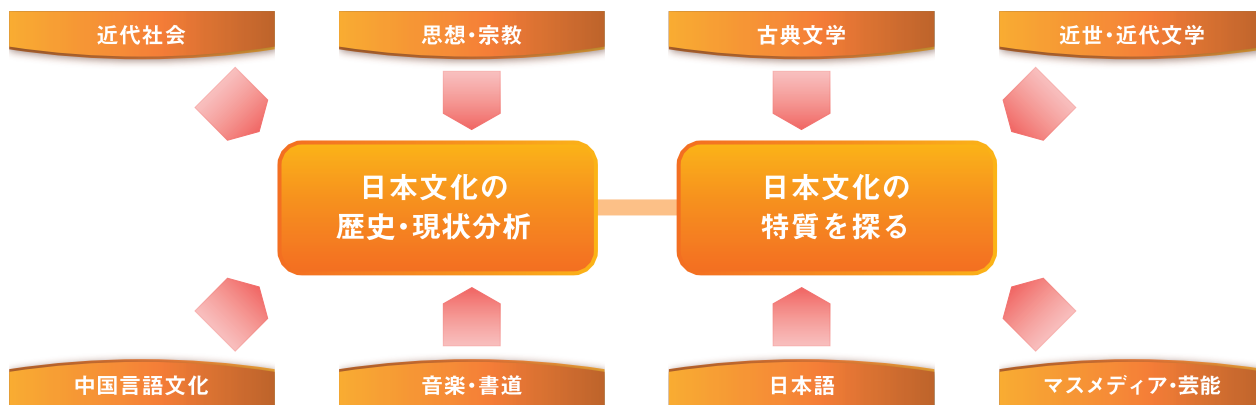
横浜市教育委員会／矢板市役所／日本郵政株式会社(日本郵政グループ)／株式会社さなる(佐鳴予備校)／株式会社ケー・デー・シー／株式会社シルバーとっぷ／株式会社エーゾーン／株式会社ファーストリテイリング／株式会社MPCコーポレーション／公益社団法人豊島区シルバー人材センター／東日本住宅株式会社

資格等の取得について

教職課程

中学校教諭1種免許状(国語)、高等学校教諭1種免許状(国語)を取得している者で、専修免許状の取得を希望する場合は、所定の単位を修得し、教育委員会に免許状の申請をすることにより、中学校教諭専修免許状(国語)、高等学校教諭専修免許状(国語)を取得できます。

日本文化専攻の概要



広汎な領域を専門的に学習

日本文化専攻の特色は、日本文化の広汎な領域を専門的に研究することです。さまざまな角度からアプローチを試みますが、中心となるのは宗教・芸能・近代社会と文化交流・音楽・書道・日本語・近現代文学・中国言語文化といった領域です。学生はこれらの科目を総合的・立体的に学ぶことにより、自分の専攻とする分野を深く掘り下げるとともに、日本文化を幅広く理解し専門研究を厚みのあるものにしていくことが可能になります。

広がるカバー領域

日本文化専攻がカバーする領域は次第に広がりつつあり、現在では三筆・三蹟などの書道や、歌舞伎などの芸能ジャンルまで網羅しています。また、発展著しい近現代の映画や出版などのマスメディアについて学ぶことも可能です。そしてこれら日本文化のすべての基礎となる日本語については、その歴史と現状分析研究における第一人者の講義が行われています。

主要科目一覧

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|-----------------------|
| ■ 日本文化特論IA・IB(宗教) | ■ 比較文化特論IA・IB | ■ 日本文化演習VIA・VIB(音楽) |
| ■ 日本文化特論IVA・IVB(近代社会と文化) | ■ 比較文化特論IIA・IIB | ■ 日本文化演習VIIA・VIIB(書道) |
| ■ 日本文化特論VA・VB(文化交流) | ■ 比較文化演習IA・IB | ■ 日本語学特別演習IA・IB |
| ■ 日本文化特論VIA・VIB(音楽) | ■ 比較文化演習IIA・IIB | ■ 古典文学特論IA・IB(上代) |
| ■ 日本文化特論VIIA・VIIB(書道) | ■ 日本文化演習IA・IB(宗教) | ■ 近現代文学特論IA・IB |
| ■ 日本語学特論IA・IB | ■ 日本文化演習IVA・IVB(近代社会と文化) | ■ 古典文学演習IA・IB(上代) |
| ■ 中国言語文化特論I・II | ■ 日本文化演習VA・VB(文化交流) | ■ 近現代文学演習IA・IB |

過去の論文テーマ

- はやみねかおるの文章表現
- 徳川家康と朱子学 ―理想的な政治秩序と社会規範の探求―
- 国語科書写における毛筆指導の方法論について
―広島県安芸郡熊野町(低学年書道科)の実践例を通して―
- 小津安二郎『東京物語』における家族観
- 地域方言にみられる言語変化 ―秋田方言を中心に―
- 西行の仮名書風に関する書道史的考察
- 王家衛における太宰治の影響について ―罪意識を中心に―
- 江戸・明治期の書道史における帖学思想の形成について
- 藤原佐理の書跡における「皮・肉・骨」に関する研究
―小野道風との比較から―
- 『枕草子』能因本本文の意義
―三巻本文との比較による解釈の異同を考える―
- 近代日本の女子教育における茶道 ―跡見花隠と女子通信教育を中心に―
- 天然理心流剣術の変化から現代の古武道を捉える
- マンガ版『風の谷のナウシカ』作品理解と受容の新たな可能性
―日本・アメリカの学際的解釈、日本語原作版と繁体字中国語版の比較・新訳案による東アジア・世界の多様性の探求―

帝京大学入学金減免制度

帝京大学の卒業生および2026年3月卒業見込みの学生を対象に入学金を全額免除する制度です。

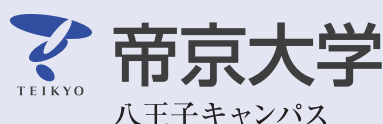
対象者

- 帝京大学卒業生または卒業見込みの者

減免額

- 入学金:全額免除

※出願の際は必ず「入学試験要項2026」またはホームページをご確認ください。



〒192-0395 東京都八王子市大塚359
<https://www.teikyo-u.ac.jp/>

※このチラシに記載されている内容は2025年度に実施予定のもので、2026年4月以降に変更する可能性があります。

▶ 問い合わせ先

入学試験について
 本部入試室 入試企画室
 TEL: 042-678-3317

授業内容等について
 教務課
 TEL: 042-678-3301

奨学金について
 学生支援課 学生支援室
 TEL: 042-678-3310

資料請求について
 インターネットによるお申し込み
<https://www.teikyo-u.ac.jp/documents/>



窓口時間: 月曜～金曜 8:45～16:45 土曜 8:45～12:00 ※祝日・年末年始(12/29～1/3) および1/17を除く